



新潟支部会報

一般社団法人 大学女性協会新潟支部
2022年7月 No. 7

目次

2022年度支部総会報告	1頁	山田和子さんの思い出	3頁
支部の動き、支部奨学賞の募集について	2頁	お知らせ	4頁

2022年度支部総会報告

今年度も書面による開催とし、4月23日までに、下記の議案について表決書を郵送回収いたしました。

◆表決結果◆

表決書提出数 23 規約に則り会員26名に対し出席定数を超えたため、総会成立

第一号議案 1. 2021年度事業報告 2. 2021年度収支決算報告 3. 監査報告 【承認 23 否認 0】

第二号議案 1. 2022年度事業計画 2. 2022年度収支予算 【承認 23 否認 0】

◆今年度運営体制（昨年度より引き続き）◆

<役員>

支部長	大淵智絵	鈴木裕美
副支部長	田代信子	三上杏里
会計	阿部美知子	仲川幸子
書記	登坂美江子	吉谷美知子

<監事>

五十嵐由利子、長谷川かよ子

<部会>

男女共同参画部
 部会長 高橋令子
 副部会長 吉谷美知子

国際交流部
 部会長 三上杏里
 副部会長 田代信子

社会学習部
 部会長 登坂美江子
 副部会長 佐藤恵美子

親睦部
 部会長 井上里恵子
 副部会長 長谷川道子

*役員会は上記の<役員>により行われます。

*運営会議は上記<役員>と<部会>の代表者により行われます。

◆主な事業計画◆

新潟支部奨学賞 (2ページにも掲載有)

例会、学習会 (4ページにも掲載有)

◆交流団体などにおける当会推薦の役員◆

・新潟県立大学後援会 顧問 大淵智絵

・(公財)新潟県女性財団 評議員 五十嵐由利子

新年度ごあいさつ

支部長 大淵 智絵

支部総会は書面による開催が3年連続となりましたが、おかげさまで本年度も無事にスタートを切ることができました。会員みなさまからのご協力で御礼を申し上げます。これまで2年間の新型コロナウイルス感染禍においても、私たちは協力と工夫をして活動を継続できたことを嬉しく思います。

今年度も各部会から興味深い学習会を計画していただきました。ご参加をお待ちしております。

支部の動き3月～6月

【3月】

- 3/5 にいがた女性会議運営委員会に出席/大淵
- 3/7 第6回役員会 (Zoom)
- 3/14 会計監査
- 3/28 第7回役員会・第4回運営会議 (Zoom)

【4月】

- 4/1 2022年度支部総会議案書の発送
- 4/3 にいがた女性会議運営委員会に出席/大淵
- 4/14 中央公民館総会に出席/鈴木
- 4/23 支部総会表決書の回収・確認/大淵、鈴木

【5月】

- 5/16 2022年度第1回役員会・運営会議 (Zoom)
- 5/16 会報担当打ち合わせ (Zoom)
- 5/21-22 全国支部長会議、全国総会 (岡山市) /欠席
- 5/25 支部奨学賞応募要項への意見集約(メール)

【6月】

- 6/3 新潟県立大学後援会総会 (書面) /大淵
- 6/6 第2回役員会、運営会議、支部奨学賞準備作業 (新潟市市民活動支援センターにて)
- 6/8 (公財) 新潟県女性財団第1回評議員会へ出席 /五十嵐
- 6/10 支部奨学賞、男女共同参画部公開学習会について 支部ウェブサイトに掲載
- 6/11 国内奨学生推薦依頼の郵送 県内9大学へ
- 6/15 会報担当者作業
- 6/15 支部奨学賞応募書類を本部ホームページへ アップロード
- 6/17 支部奨学賞応募要項、周知のお願いの郵送 県内14大学へ
- 6/20 男女共同参画部オンライン公開学習会のお知らせメール配信 全国の支部長へ

2022年度新潟支部奨学賞の募集について

今年度も新潟県内の大学の各学部・大学院で学ぶ女子学生を対象に、新潟支部奨学賞を贈呈します。応募要項は6月より配付を開始しました。今年度の応募小論文テーマは「ジェンダー平等社会への思い」です。

現代の日本社会では、女性の活躍への期待が高まっています。しかし、女性の社会進出等を示す国連のジェンダー指数から見る日本の女性の地位はまだ低い状態です。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、女性の弱い立場をクローズアップしました。更に、この新型コロナウイルス感染禍において、新しい視点での価値観や取り組みが急速に広がりました。このような状況の中でジェンダー平等社会について考えたことを、女子学生自身の実感や経験を踏まえて書いていただきます。

応募受付期間は9月1日～10月10日、第73回奨学賞授与式は2022年12月3日(土)です。実施の詳細、応募書類のダウンロードは大学女性協会新潟支部ウェブサイト <http://jauwniigata.blog.fc2.com/> から。

- 支部奨学賞応募要項送付校 (順不同)

新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟国際情報大学、新潟産業大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、敬和学園大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学、三条市立大学 (新規)

- 国内奨学賞応募要項送付校 (順不同)

新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学

ヴェトナム奨学生からのレター

Em tên là Võ Thị Huyền Trân. Em nhận học bổng NVC.

Em xin cảm ơn quỹ học bổng cho em suất học bổng ý nghĩa này. Em xin hứa sẽ cố gắng học tập để sau này có thể cống hiến thật nhiều cho xã hội. Em chúc quỹ học bổng sẽ ngày càng lớn mạnh và các anh chị, cô, chú trong quỹ học bổng thật nhiều sức khỏe và luôn gặp may mắn trong cuộc sống. Em cảm ơn quỹ học bổng NVC rất nhiều ạ.

(21th June. 2022)

NVCとご支援くださる皆様へ

VO THI HUYEN TRAN と申します。大学女性協会新潟支部からの奨学金を授与いただき誠にありがとうございました。私は、勉強を一所懸命頑張ることをみなさまに約束し、将来は社会に役に立てる人になりたいです。NVCと皆様の益々のご発展とご健康をお祈りいたしています。感謝を込めて。

ヴォ ティ フェン チャン 第二労働社会大学 人材管理専攻 2年

山田和子さんの思い出



山田和子さん、いま、どこにどうして、いらっしゃいますか。お逢いたいです。

この上ないやさしさ、豊かさ、笑顔、私達はどんなにいやされたことでしょう。

大切なことも沢山、教えていただきました。

大学女性協会に入会した時、新潟だけでなく他の大学の出身者も多く、早稲田大学の山田さんにお逢いました。

山田さんは大都市東京生まれ、東京育ち、あの大東京の中での通学、そして名門、早稲田で何を学んでいらっしゃるのだらうと。以前、文学部とお聞きしておりました。広さ、豊かさ、美しさの世界です。

山田和子さんのご兄弟等、その他の方々は慶応大学に進まれた方が多かったとお聞きしておりました。

早稲田と言えばそうです。その時から新潟を見つめておいででしたでしょうか。

太平洋側の大東京、日本海側の新潟市、私達も生活、文化・・・など学ぶことがたくさんあります。地方都市に住む私達、教えていただいたことありがとうございました。

笑顔の和子さん、いつまでも忘れません。

北村 美江(1972年入会)

山田和子さんが2010年に出版された自叙伝を改めて手に取りました。山田さんが多くの方から頼りにされ、広くあたたかな心で様々な立場から活躍されてきたことが良くわかります。私が山田さんと出会った20年前はご自身経営の喫茶店「ケルン」が閉店するころ。私が結婚して東京から来たばかりと知ると、たくさんの事をお話してくださいました。それは新潟での暮らし方や大人の女性としての気配りだったり、大学婦人協会と支部の事、社会の仕組みから生活の知恵のようなことまで。また、お互いに大柄なほうではなく、あなたくらいしか着られる人がいないからと、後にはお洋服をおさがりで頂いたりもしました。そのお洋服には「人前に入る時の装い」のための工夫があって、その工夫がなぜ必要なのかも教えて下さいました。明るくおしゃれ、細やかでありながらおおらかで、いつも笑顔で周囲に勇気を下さるような女性でした。教えていただいたことはどれも今、私の人生に役立ちあるいは指針となっています。

新潟支部での山田さんのご活躍は長いお付き合いのある先輩会員のみなさまが良くご存じですが、親睦部長を長く勤めてくださり、会員同士のつながりにとりわけ心を砕いて下さったように思います。今回、山田さんの著書からの転載をご家族からご了承いただき、抜粋して掲載いたします。

山田和子さんは1977年に当会に入会され、支部長、全国通常総会(新潟大会)実行委員長などを歴任。2022年1月17日にご逝去されました。永年に亘るご貢献に深く感謝を申し上げます。支部長 大淵智絵

「ケルンでCoffeeを淹れながら」より

会員になってから30年余り。協会支部の歴史から見れば、半分くらいの在籍期間にすぎません。諸先輩方が固めてくださった基盤の上で、動き回ってきただけなのですが、おかげで貴重な体験と学習をさせていただくことができました。会計監査、書記などを経て、1993年から2年間、支部長を務めました。『創立30周年記念誌』の編集、会員の見学旅行の企画。横浜市で開かれたIFUW世界大会、埼玉県にある国立婦人教育会館での研究会などへの参加。それに各支部持ち回りで開催する全国総会には、見聞を広めるためほとんど出席しました。親睦と視察を



兼ねた旅行の計画は楽しくもあり、悩ましくもあり。毎年秋に県内か近県へ出掛けます。海外へは一度だけ、韓国を訪れました。目的地が決まると、夫に運転手を頼み、必ず下見に出向きます。事務的な作業は入澤チヅさんに任せ切りで、心配はいりません。私は当日のガイド役ですが、ユニークな企画を心掛けた効果か、好評だったと自負しています。特に充実感があった体験は1990年の第33回、2009年の第52回と、新潟市で開催した全国通常総会の運営に係わったことです。

2010年 山田和子著 / 新潟日報事業社刊

写真は2009年第52回全国通常総会にて実行委員長を務めた山田さん(下段中央)

お知らせ

◆活動予定◆

- ① 7月16日(土) 7月例会、男女共同参画部学習会
- ② 9月24日(土) 9月例会、社会学習部発表
- ③ 10月24日(月) 10月例会、国際交流部学習会
- ④ 12月3日(土) 第73回奨学賞授与式

○新潟支部ウェブサイト



支部発信の情報

○新潟支部情報ノート



支部に集まる様々な情報

男女共同参画部公開学習会

7/16
(土)

第36回女性史青山なを賞受賞作

「ナチス機関誌『女性展望』を読む

～女性像、日常生活、戦時動員～」について

講師：敬和学園大学名誉教授 桑原ヒサ子さん

日時：2022年7月16日(土) 14:00より

参加費無料 オンライン開催

『女性展望』は、第2次世界大戦後のドイツの記憶から消し去られたナチスの機関紙であり、当時の「理想的」とされた女性像を伝達する有力なプロパガンダでした(表紙の案内文より)。ナチス政権下に生きてきた女性達の実像にふれることができます。

(担当 高橋令子)

*開催報告は次号に掲載予定。お楽しみに。

国際交流部学習会

10/24
(月)

「世界文化遺産 国立西洋美術館に見る美」

【ル・コルビジエの建築からの検証】

解説：国立西洋美術館教育普及室

日時：2022年10月24日(月) 13:30より

参加費無料、オンライン開催

東京都台東区、上野公園内にある国立西洋美術館は、西洋の美術部門を専門とする日本で唯一の国立美術館です。建物本館は「ル・コルビジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献」の構成資産として世界文化遺産にも登録されました。今回はこの本館建物の見学と解説を、オンラインでうかがえます。

(担当 鈴木裕美)

◆本部より◆

- ① 公開シンポジウム 10月22日(土) テーマ 「ユースの視点から見直そうこれからの日本」
- ② 第67回国連女性の地位委員会(CSW67)参加若手支援希望者募集 9/22応募締め切り
- ③ 本部ホームページは毎月15日に更新されます。「15日はホームページを見る日」と覚え、ぜひご覧ください。

*本部ホームページは「JAUW」と検索、または上記の支部ウェブサイトのリンクからどうぞ。

編集後記

暑い日が続きます。今年は、梅雨を通り越して急に夏になってしまったような気がしております。皆様、体調に気を付けて毎日をお過ごしくださいませ。

会報担当 三上杏里

会報担当(五十音順)

大淵、鈴木、登坂、三上、吉谷

新潟支部会報No.7

(一社) 大学女性協会新潟支部

支部長 大淵智絵 鈴木裕美

<http://jauwniigata.blog.fc2.com/>

発行日 2022年7月15日